

サンクテラス 自在垂木掛け (Fタイプ・Rタイプ) 取付説明書

●本取付説明書は自在垂木掛けの取付内容に関して説明します。自在垂木掛けの施工は、サンクテラス施工時に行ないますので、施工の際は必ず、サンクテラス部品セット (単体) および自在桁端部部品セットに同梱の取付説明書を御覧ください。

■施工される方へのお願い

- 本製品施工の際は、サンクテラス本体に同梱されている取付け説明書を併せてご使用ください。
- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

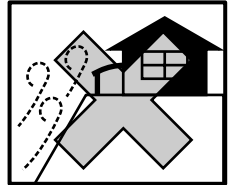
▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

■設置条件

- 自在垂木掛けは必ず自在桁と併用して施工してください。
- 他社商品と組合わせて設置しないでください。
- 強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上などの施工は避けてください。



■躯体への固定

- タッピンネジは柱・間柱・胴差し等の構造材に必ず止めてください。躯体位置が分からない場合、及び躯体の強度が保持できない場合は取付けしないでください。
- 躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、お施主様と打合せをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから絶対に行わないでください。
- タッピンネジの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。

■部材の固定

- 組立てネジ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。又、使用中ゆるまないように締め付けてください。

■施工時の足場について

- 施工時は必ず足場を設け、転落などの危険がないようにしてください。

■施工上について

- 施工は専門業者が行ってください。
- みだりに改造・変更をしないでください。
- 当社指定の付属品以外は取り付けしないでください。

※製品腐食のおそれがありますので下記事項をお守りください。

■絶縁処理

- アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

※水漏れのおそれがありますので下記事項を厳守してください。

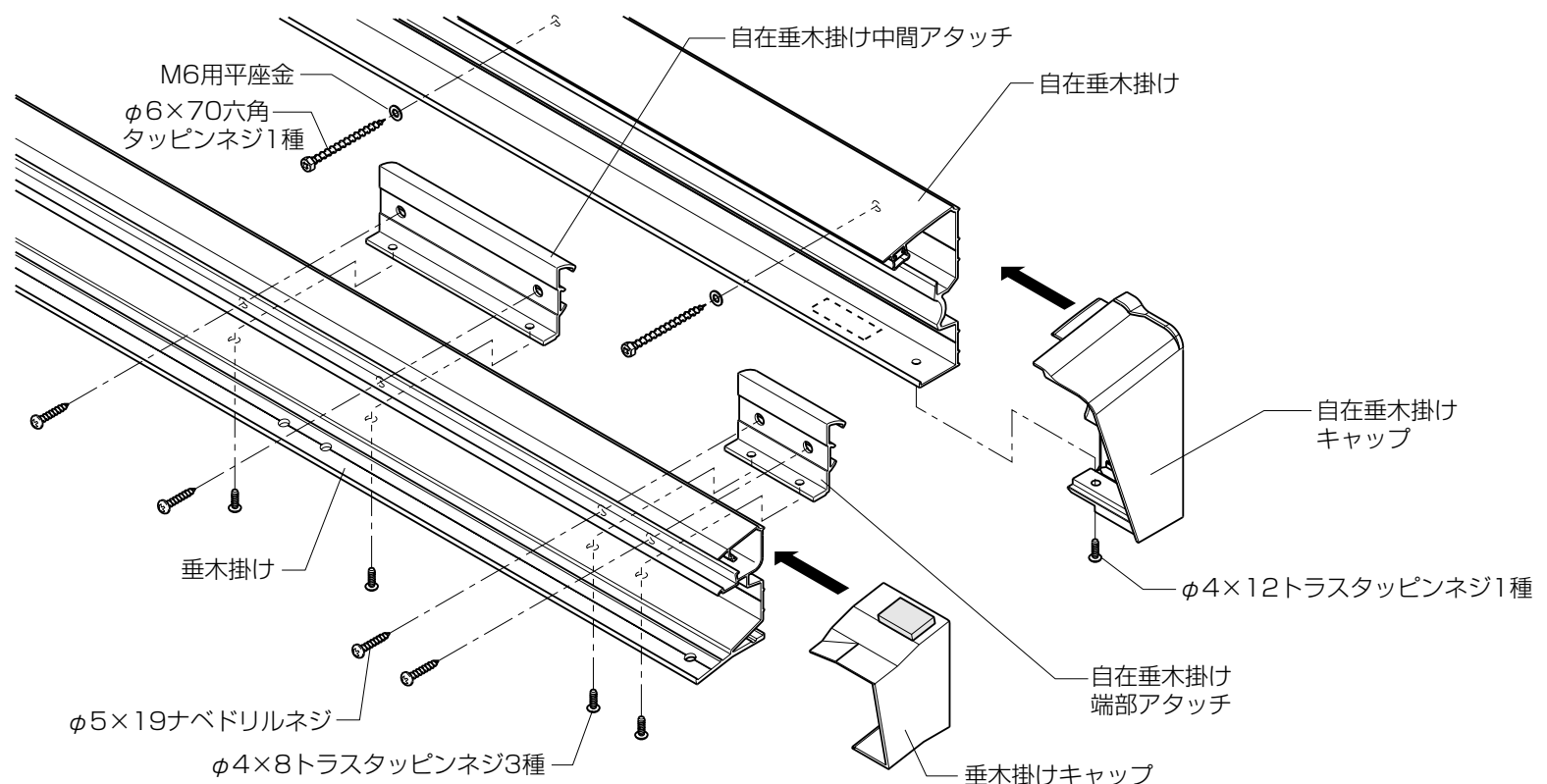
■シーリングについて

- シーリングは指定個所に必ず行ってください。
- 外壁の上から部材を取付ける場合は、コーキング材を下穴に充てんしてからねじ止めしてください。

■施工上のお願い

- 水平・垂直は水準器などで正確に出してください。

■構造説明図



■取付け順序

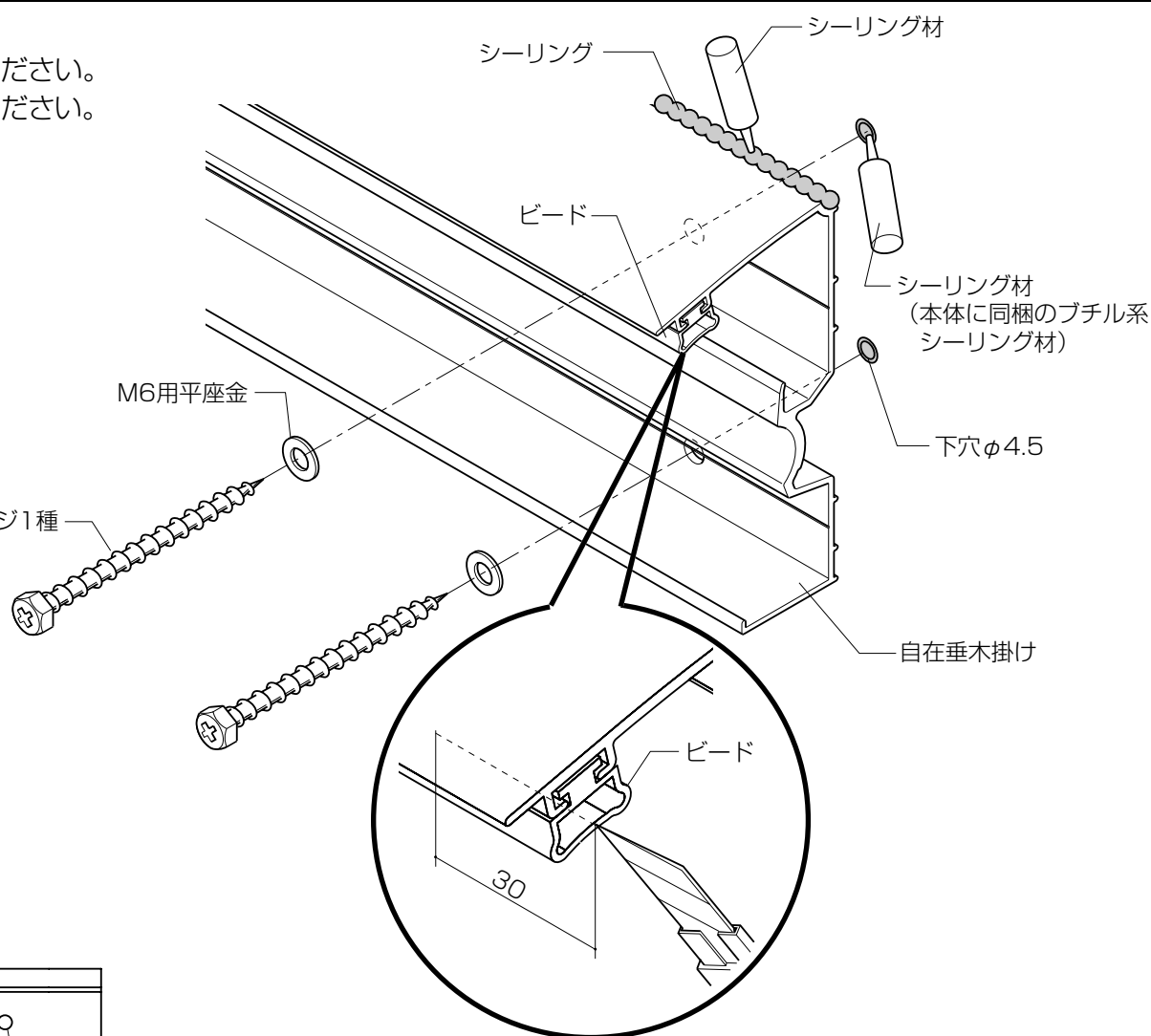
1 自在垂木掛けの固定

- ①垂木掛けを躯体に取付ける際、必ず水準器で水平を出してください。
- ②キャップ取付けのためビードに両端30mm切れ目を入れてください。

▲注意

- ※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。
- 自在垂木掛けは必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取付けてください。
- 躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、補強してから取付けてください。

φ6×70六角タッピンネジ1種

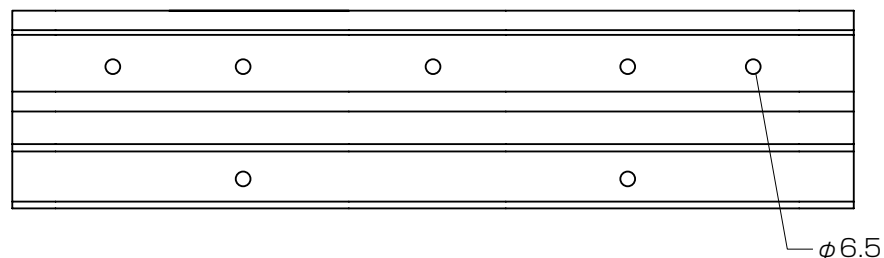


▲注意

- 躯体の下穴部、垂木掛け接合部に必ずシーリングしてください。

【関西間の場合】

関西間の場合、自在垂木掛けに躯体取付け用の穴はあいていません。柱及び間柱の位置に合わせてφ6.5の穴をあけてください。ただし下側の穴はひとつ置きにあけてください。

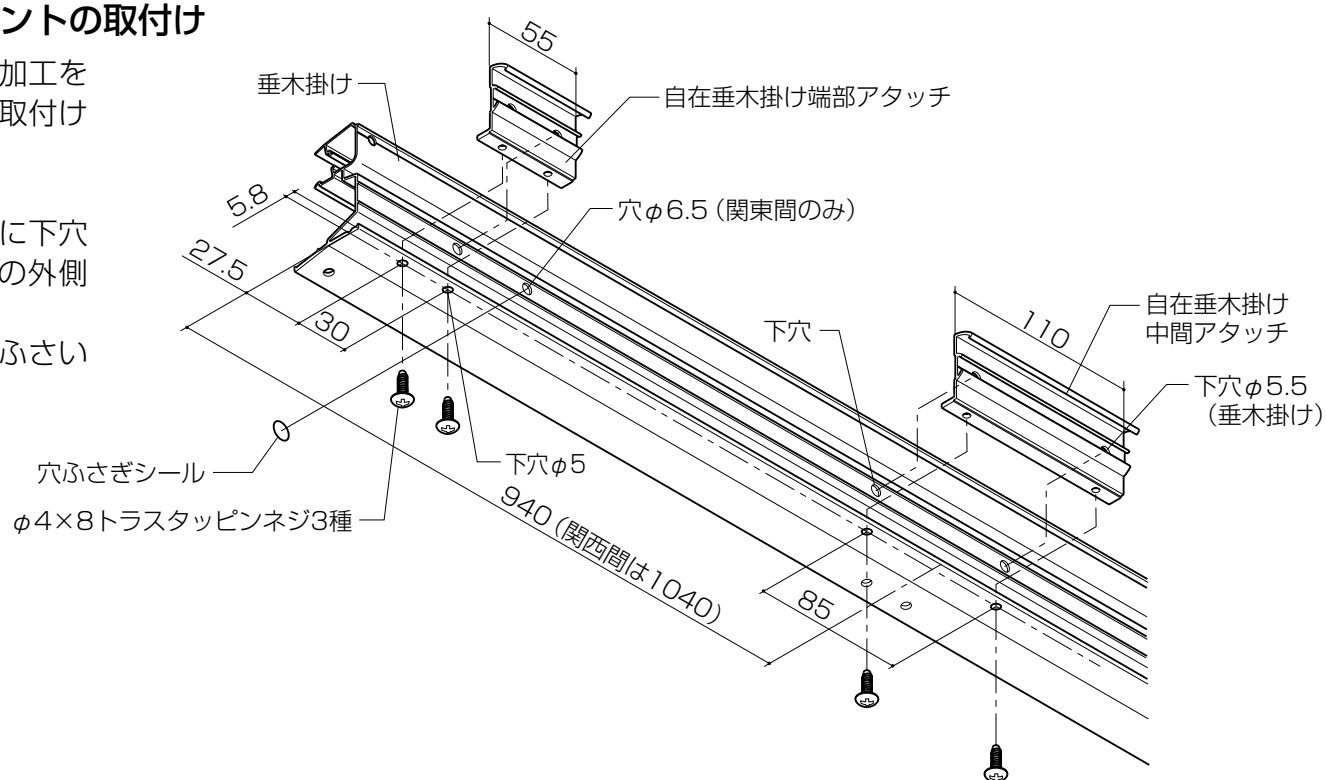


ポイント

- シリコンシーリングを行う場合、アクリル板及びポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。
- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコン トスシール380
- ・トーレシリコン SE960

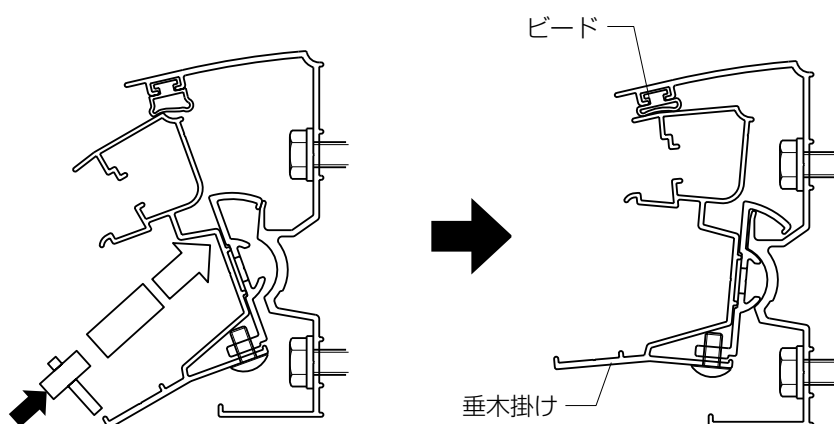
2 垂木掛けへの自在垂木掛けアタッチメントの取付け

- ①垂木掛けに自在垂木掛けアタッチメントを取付ける加工をしてネジで固定してください。中間用は垂木取付け位置と同じ位置に取付けてください。
(8尺以上、3000タイプは1つおき)
 - ②自在垂木掛けアタッチメントと同じ位置で垂木掛けに下穴(φ5.5)をあけてください。端部アタッチメントの外側の穴は下穴が不要です。
- ※垂木掛けにあいているφ6.5の穴はシールでふさいでください。(関東間のみ)



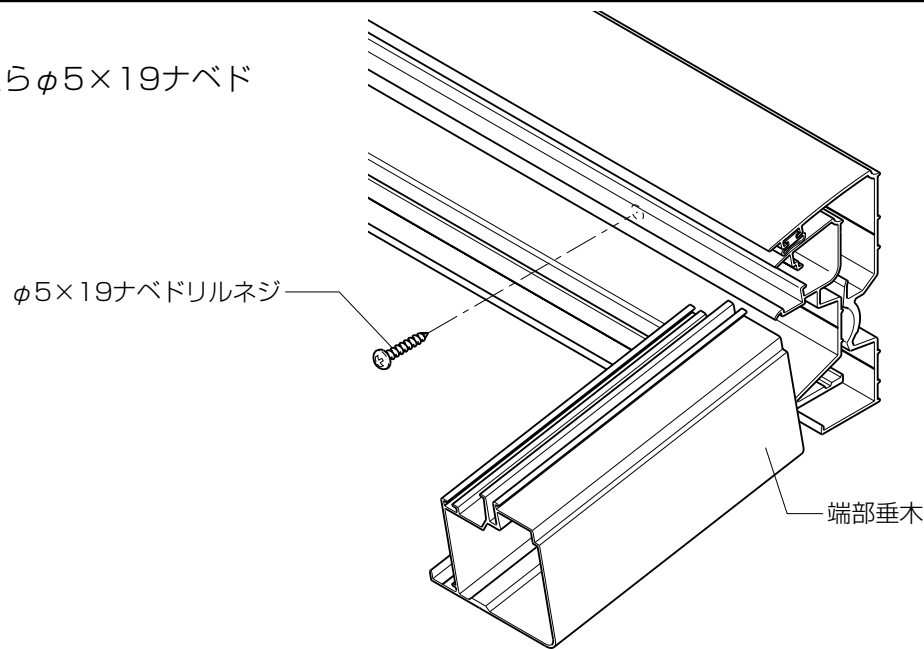
3 垂木掛けの取付け

- ①自在垂木掛けアタッチメントを取付けている部分をあて木等を使用してたたいて"パチッ"と音がするまで押し込んでください。
- ②垂木を取付ける前に垂木掛けが確実に納まっているか、垂木掛けを可動させて確認してください。可動しない場合は垂木掛けの納まりが不完全ですので浮いた状態になってしまいます。もう1度①の通り行ってください。
- ③ビードがのみ込まれていないか確認してください。のみ込まれている場合、垂木掛けを動かして調整してください。それでも直らない場合は、そこにシーリングしてください。



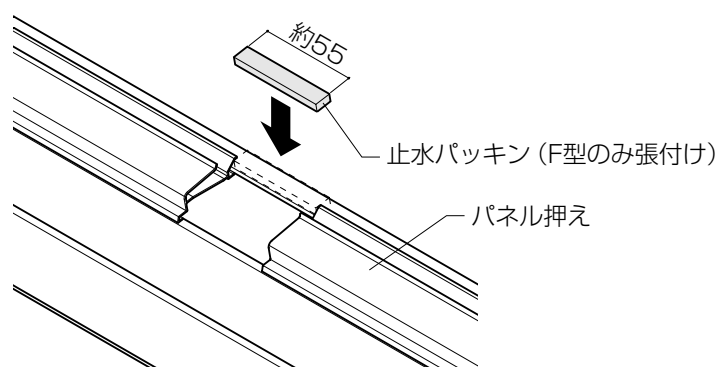
4 垂木掛けの固定

- 端部垂木と垂木掛けが取り付けたらφ5×19ナベドリルネジで固定してください。



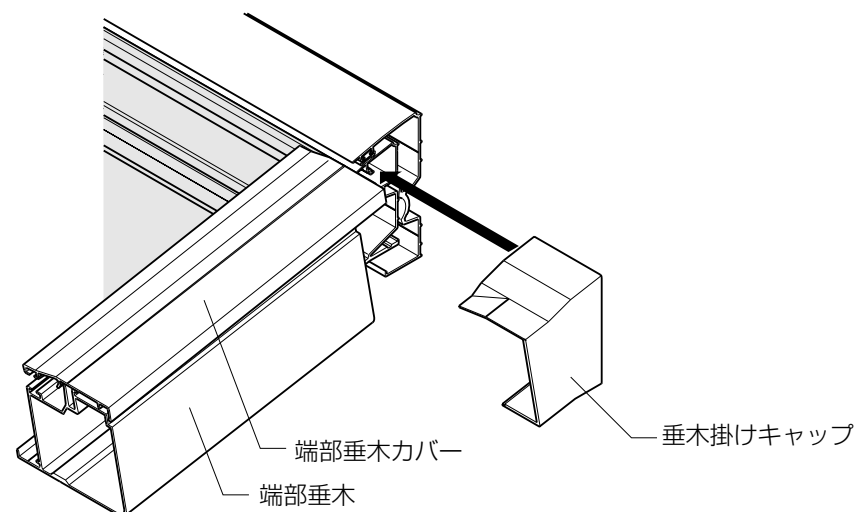
5 止水パッキンの張り付(F型のみ)

- 取付け角度が10°以下の場合、前枠のパネル押さえの間に止水パッキンを切って張り付けてください。



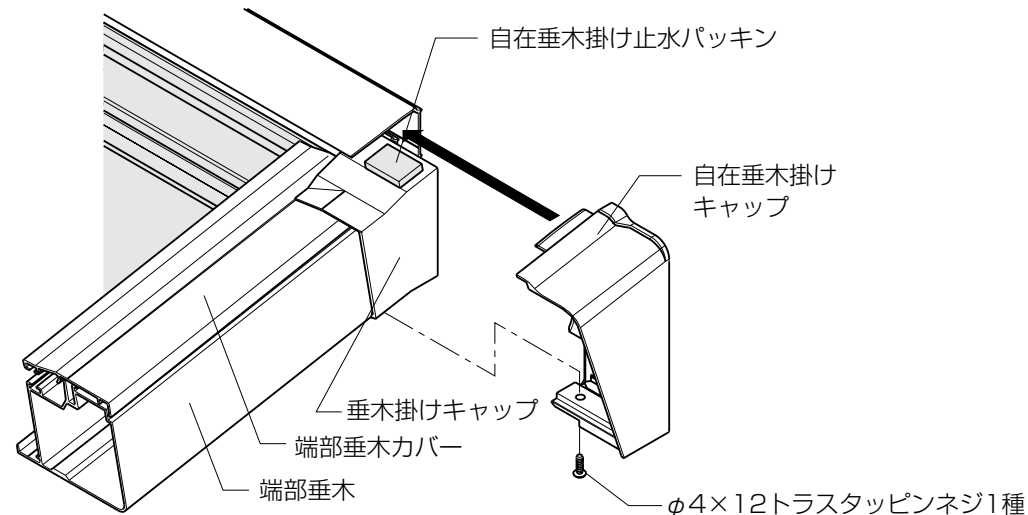
6 キャップの取付け

- ①垂木掛けに垂木掛けキャップを取付けてください。
垂木掛けキャップの取付けの際のシーリングは本体の取付説明書を参考にしてください。

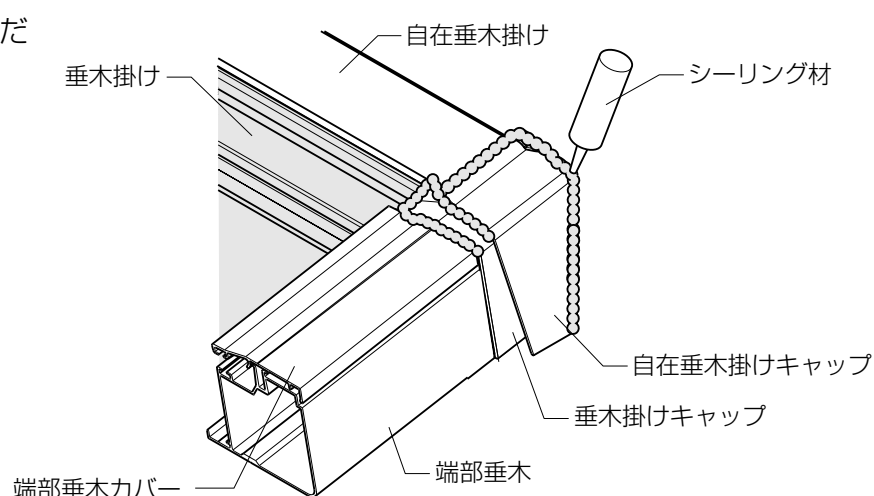


- ②図のように垂木掛けキャップに自在垂木掛け止水パッキン（自在垂木掛け端部部品同品）を貼付けてください。

- ③自在垂木掛けキャップを取付けてネジで固定してください。



- ④自在垂木掛けキャップを取り付けた後、下図のようにシーリングしてください。



ポイント

- シリコンシーリングを行う場合、アクリル板及びポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。

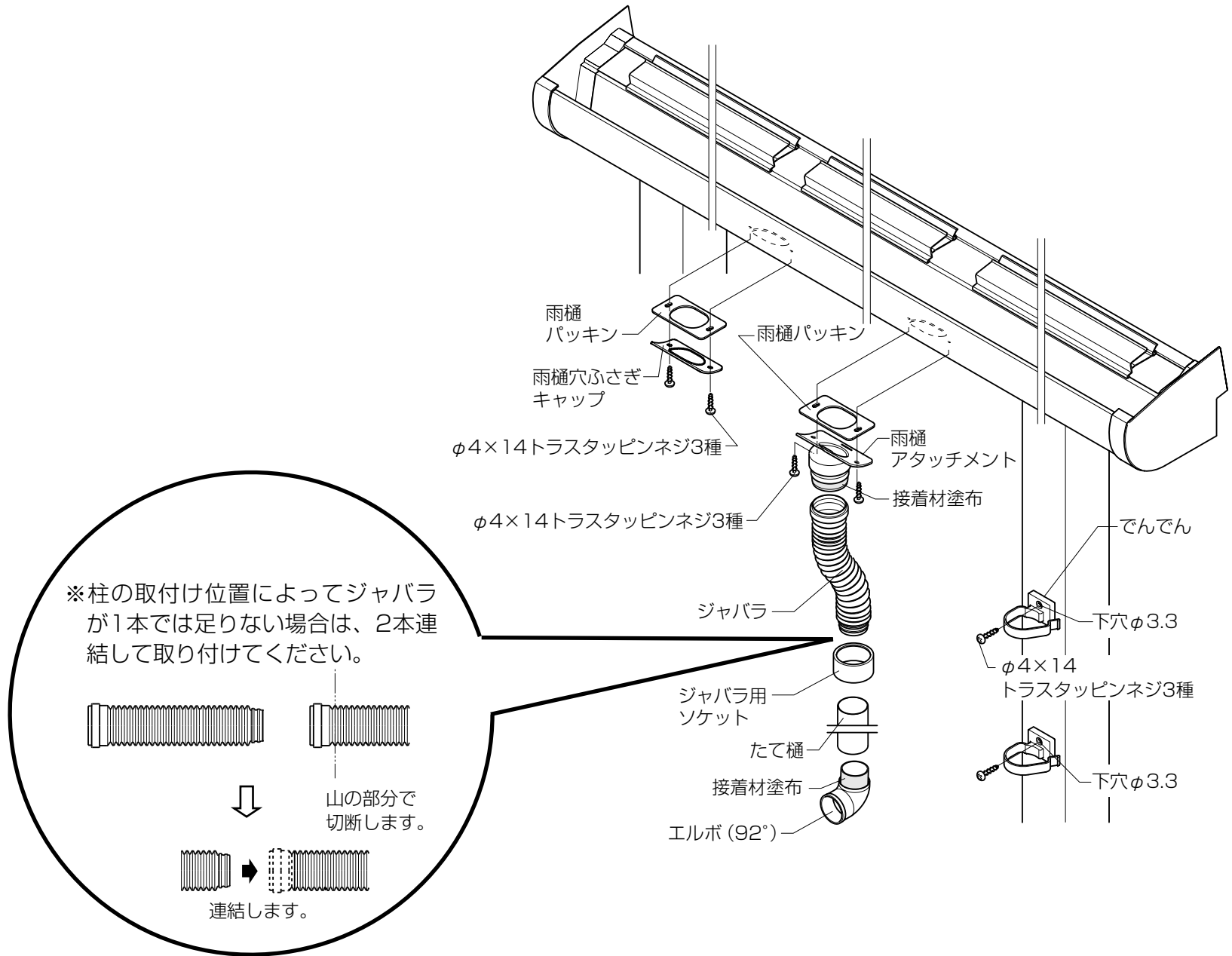
- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコン トスシール380
- ・トーレシリコン SE960

▲ 注意

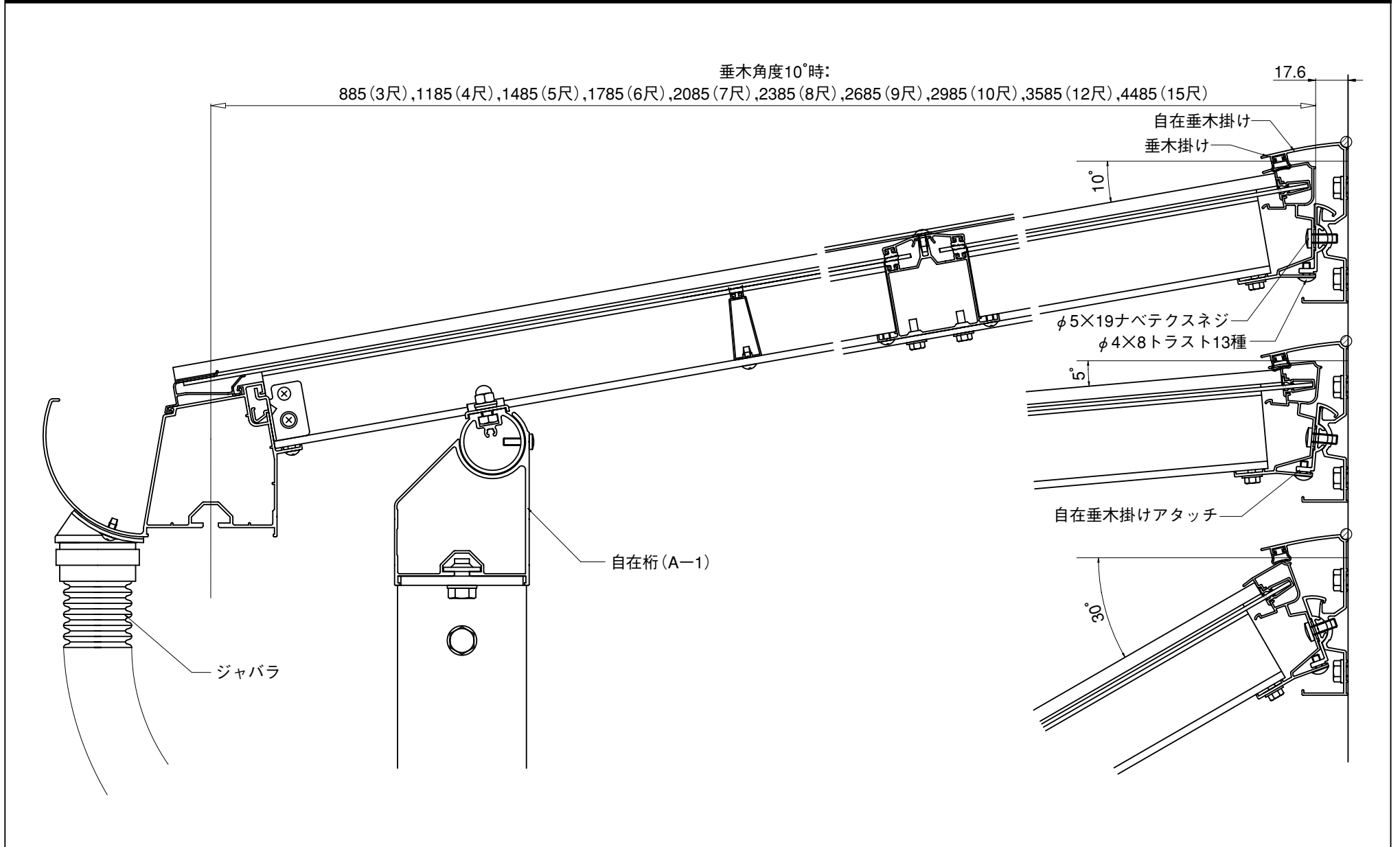
- 垂木掛けキャップに必ずシーリングしてください。

7 雨どいの取付け

●自在垂木掛けの場合、ドレンエルボが使用できないのでジャバラを使用してください。



■納まり図



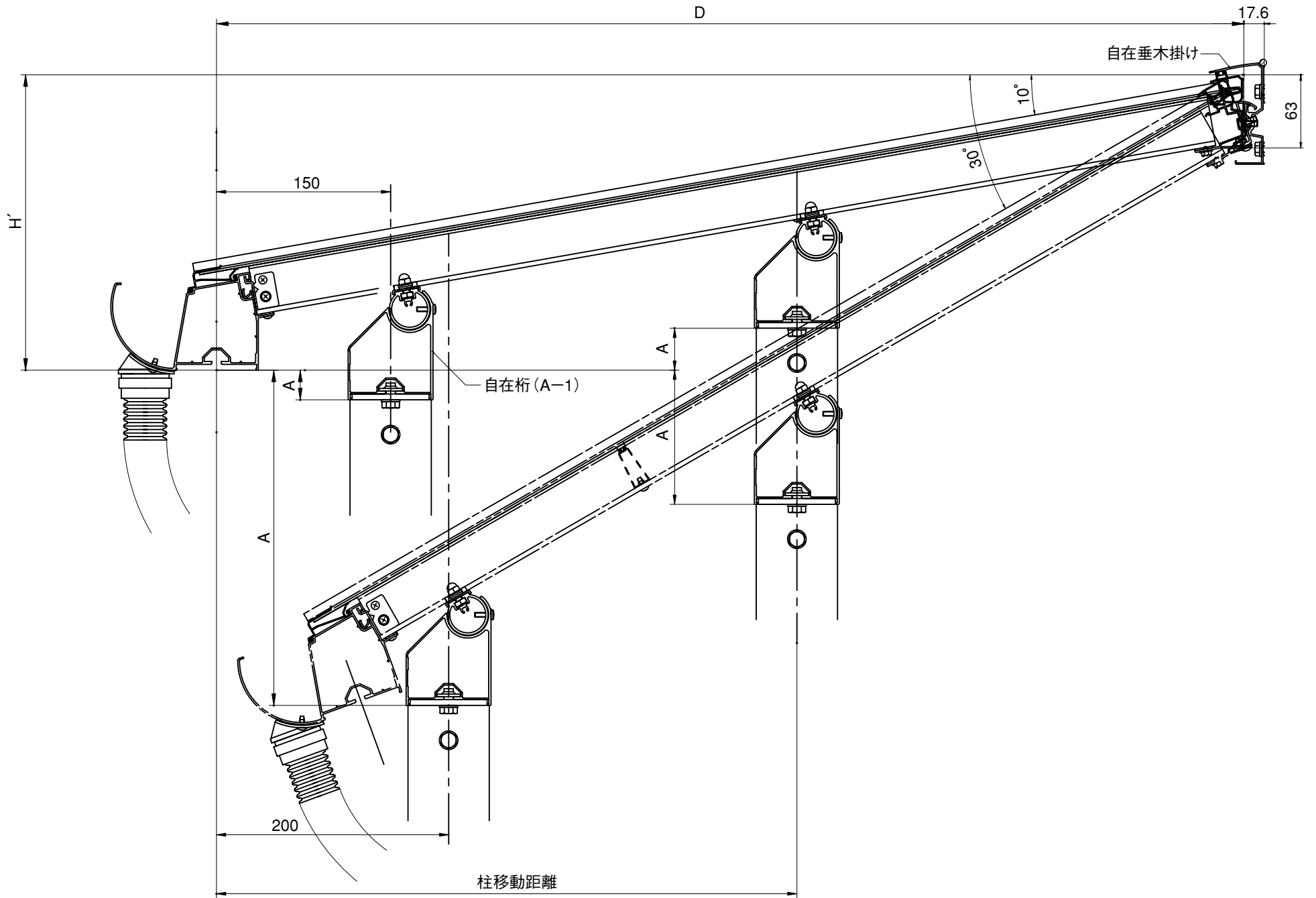
8 柱移動可能距離と柱長さの決定

1 Fタイプ

①表1-1で柱の長さを決定してください。

A寸法がマイナスの場合、その分柱を深く埋め込むか、切断してください。

プラスの場合は、長尺柱を使用してその分長くしてください。



●表1-1 FタイプのA寸法早見表 600タイプの1.0間~2.0間で3尺~6尺の場合です。

屋根傾斜角度 柱移動距離 (mm)	$\theta=5^\circ$	$\theta=10^\circ$	$\theta=15^\circ$	$\theta=20^\circ$	$\theta=25^\circ$	$\theta=30^\circ$
150	41	-24	-90	-160	-	-
200	45	-15	-77	-142	-211	-287
250	49	-6	-64	-124	-188	-258
300	53	3	-51	-106	-165	-229
350	57	12	-38	-88	-142	-200
400	61	21	-25	-70	-119	-171
450	65	30	-12	-52	-96	-142
500※	69	39	-1	-34	-73	-113

※600タイプの7尺以上および、1500タイプと3000タイプの場合は、表1-2の換算表で柱の長さを決定してください。

※600タイプの3尺~6尺は、強度上柱移動距離500は施工できません。

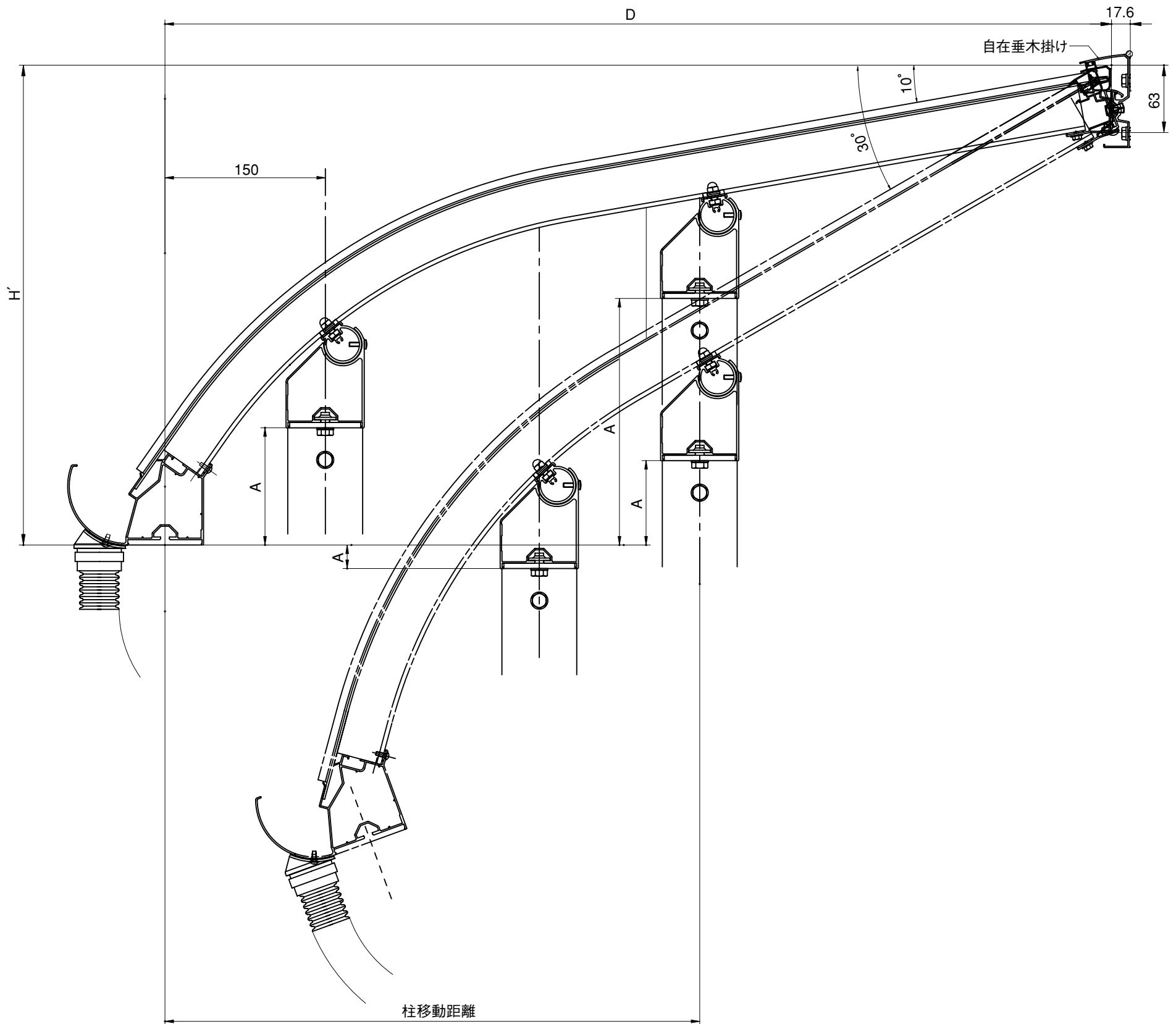
●表1-2 サイズ別A寸法換算表 A=表1-1の表中の寸法

Fタイプ	600タイプ									1500タイプ			3000タイプ	
	1.0間~2.0間			2.5間通し			3.0間通し			1.0間~2.0間		2.5間通し	1.0間~2.0間	
	3尺~6尺	7尺~10尺	12尺・15尺	3尺~6尺	7尺~10尺	12尺・15尺	3尺~6尺	7尺~10尺	12尺・15尺	3尺~6尺	7尺・8尺	9尺	3尺~6尺	3尺~6尺
	A-0	A-45	A-164	A-45	A-70	A-164	A-70	A-90	A-164	A-45	A-65	A-85	A-65	A-110

②Rタイプ

①表2-1で柱の長さを決定してください。

A寸法がマイナスの場合、その分柱を深く埋め込むか、切断してください。
 プラスの場合は、長尺柱を使用してその分長くしてください。



●表2-1 RタイプのA寸法早見表 600タイプの1.0間~2.0間で3尺~6尺の場合です。

柱移動距離 (mm)	屋根傾斜角度					
	$\theta=5^\circ$	$\theta=10^\circ$	$\theta=15^\circ$	$\theta=20^\circ$	$\theta=25^\circ$	$\theta=30^\circ$
150	185	111	—	—	—	—
200	211	146	75	—	—	—
250	231	173	110	40	—	—
300	244	192	137	77	8	—
350	252	205	157	104	47	-20
400	256	214	172	126	76	20
450	261	223	185	144	100	52
500※	265	232	198	162	124	81

※600タイプの7尺以上および、1500タイプと3000タイプの場合は、表2-2の換算表で柱の長さを決定してください。

※600タイプの3尺~6尺は、強度上柱移動距離500は施工できません。

●表2-2 サイズ別A寸法換算表 A=表2-1の表中の寸法

Rタイプ	600タイプ									1500タイプ			3000タイプ	
	1.0間~2.0間			2.5間通し			3.0間通し			1.0間~2.0間		2.5間通し	1.0間~2.0間	
	3尺~6尺	7尺~10尺	12尺~15尺	3尺~6尺	7尺~10尺	12尺~15尺	3尺~6尺	7尺~10尺	12尺~15尺	3尺~6尺	7尺~8尺	9尺	3尺~6尺	3尺~6尺
	A-0	A-45	—	A-45	A-70	—	A-70	A-90	—	A-45	A-65	A-65	A-65	A-110

■梱包明細書

①自在垂木掛けセット

名 称	員 数				
	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
自在垂木掛け	1	1	1	1	1
自在垂木掛けビート板	1	1	1	1	1
自在垂木掛け中間アタッチ	1	2	3	4	5
自在垂木掛け端部アタッチ	2	2	2	2	2
φ4×8トラスタッピンネジ 3種	6	8	10	13	15
φ5×19ナベドリルネジ	6	8	11	13	15
φ6×70十字孔付き六角タッピンネジ 1種	1	2	2	3	3
M6用平座金	1	2	2	3	3
孔ふさぎシール	3	4	5	7	8
止水パッキン	1	1	1	1	1

②自在垂木掛け端部部品セット

名 称	員 数
自在垂木掛けキャップL	1
自在垂木掛けキャップR	1
自在垂木掛け止水パッキン	2
φ4×12トラスタッピンネジ 1種	2
取付説明書	1

③ジャバラセット

名 称	員 数
ジャバラ	1
ジャバラ用ソケット	1

自然が未来

DEX
東洋エクステリア